

『健幸づくり計画』の各分野の目標と主な取組

(1) 食生活分野

※目標については、(A) 新たに設定したものは黄色網掛け、(B) 趣旨に大きな変更はないが文言変更、数値の把握方法を変更したものは水色で網掛けしています

ア 栄養・食生活

指 標		基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)	
食育に関心のある人の割合		79.1%	90%以上	
生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩に気をつけた食生活を実践する人の割合		78.5%	85%以上	
朝食を欠食する人の割合	幼児	6.6%	5%以下	
	小学校	3.0%	0%	
	中学校	5.0%	0%	
	20～30代	15.2%	15%以下	
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2食以上ほぼ毎日の人の割合		60.0%	80%以上	
適正体重を維持している人の割合	幼児(肥満傾向の子どもの割合) ※肥満度15%以上		6.8%	減少
	小学校4年生(肥満傾向の子どもの割合) ※肥満度20%以上	男性	16.9%	減少
		女性	9.8%	減少
	中学校1年生(肥満傾向の子どもの割合) ※肥満度20%以上	男性	12.4%	減少
		女性	4.7%	減少
	40～64歳(BMI25以上の人の割合)	男性	32.7%	減少
		女性	21.2%	減少
65歳以上の低栄養傾向の高齢者(BMI20以下の割合)		21.3%	20%以下	
学校給食における地元産農産物を使用する割合(重量割合)		43.3%	40%以上	



事業の概要	担当課
(妊産婦) プレママ教室、離乳食教室、幼児健診等、妊娠期からの望ましい食生活の啓発および、個別栄養指導の実施	こども課
(乳幼児) 保育施設における健康教室、発育調査結果個別通知および健康相談による栄養指導の実施	こども課
(小・中学校) 小児生活習慣病予防健診の実施、結果個別通知、個別指導および医療受診勧奨と、事前・事後指導による健康教育の実施	こども課 学校教育課
(小・中学校) 栄養教諭等による食育指導と保護者への情報提供・協力依頼、学級担任と連携した給食時の個別指導、全校運動タイムの実施	学校教育課
食育通信や保健たよりなどの各種媒体により健全な食習慣、生活習慣の普及啓発	こども課 学校教育課 健康福祉課
各種団体との連携・協働により健全な食生活の実践につなげるための講座を実施	健康福祉課
特定保健指導や健康相談で健康結果から自分の食と健康との繋がりが分かる保健指導の実施	健康福祉課



イ 喫煙

指 標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
喫煙者の割合	11.4%	維持又は減少

事業の概要	担当課
喫煙による健康被害防止の普及啓発	健康福祉課
未成年者への喫煙による健康被害などの教育の実施 (喫煙防止講演会等)	健康福祉課



ウ 歯・口腔

指 標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
定期的に歯科検診を受ける人の割合(20歳以上)	47.5%	60%以上
12歳児の1人平均むし歯本数(永久歯)	0.23本	維持又は減少

事業の概要	担当課
(妊産婦) 妊娠届出時健康相談の実施、妊婦歯科検診の実施	こども課
(乳幼児) 健診時に歯科衛生士による個別指導の実施、健康相談会での普及啓発、フッ化物洗口の実施と普及	こども課
(小学生・中学生) 歯科検診の実施と治療勧奨、歯科保健指導の実施、フッ化物洗口の実施、朝食摂取の指導、昼の歯みがき推進	学校教育課
(成人) 歯周病検診の実施、歯周病予防知識の普及啓発、健幸フェスタでの無料歯科検診の実施	健康福祉課
(高齢者・要介護者) 歯科健康教育の実施、要介護者への口腔ケアの情報提供、後期高齢者歯科健康診査の助成・受診勧奨の実施	健康福祉課
(障がい児(者)) 障がい児(者) 歯科保健推進事業の実施と周知	健康福祉課

『健幸づくり計画』の各分野の目標と主な取組

(2) 運動・スポーツ分野

指 標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
定期的に運動している人の割合	24.6%	30%以上
健康運動教室・健幸ポイント参加者数(実人数)	2,194人	2,600人以上
総合型地域スポーツクラブ参加者数	578人	700人以上
小中学校12校中、体力テスト結果(男女24項目)が県平均より上回った項目数の割合	46.0%	50%以上



事業の概要	担当課
健康運動教室事業・健幸ポイント事業の実施と参加の働きかけ (特に若年層への働きかけの強化・参加しやすい仕組みの検討)	健康福祉課
スポーツ協会と連携した総合型などのプログラムの実施・情報発信	まちづくり課
運動プログラムを提供する民間企業・団体との連携強化	まちづくり課 健康福祉課
広報見附などの各種媒体や健診会場などでの運動の重要性の普及啓発	健康福祉課
企業や協会けんぽ等と連携し、職域を通じた運動の重要性の普及啓発	健康福祉課
全校体制による運動の推進や体力向上の取組みの実施	学校教育課
スペシャリスト派遣事業等、地域との連携による児童生徒の体力向上に寄与する施策の展開	学校教育課

(3) 生きがい・心の健康分野

ア 生きがい

指 標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
生きがいを持っている人の割合	48.9%	50%以上
悠々ライフ参加延べ人数	5,059人	7,000人以上
市民活動・ボランティア連絡協議会加盟団体活動者の数	1,568人	1,900人



事業の概要	担当課
「悠々ライフ」への補助金交付と活動支援の継続	まちづくり課
「市民活動・ボランティア連絡協議会」への補助金交付と活動支援の継続。その他、市民活動団体や個人への活動支援。	まちづくり課

イ 心の健康

指 標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
ストレスや不安を感じても、元気になる人の割合 ※感じない人を含む	83.3%	85%以上
自殺者(自殺率)の減少(10万人当たり)	23.4%	15.5%以下



事業の概要	担当課
こころの健康づくりに関する普及啓発	健康福祉課
ゲートキーパー養成と地域づくりの支援	健康福祉課
庁内関係部署・庁外自殺対策関係機関との連携会議の実施	健康福祉課
心の健康に関する相談体制の充実	健康福祉課

(4) 健(検)診分野

ア 健康診査・保健指導・生活習慣病予防

指 標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
国保特定健診	53.1%	60%以上
後期高齢基本健診	27.8%	増加
国保 特定保健指導率	42.1%	60%以上
国保 メタリックルームの該当者・予備群の割合	30.2%	減少
国保 高血圧有病率(140/90mmHg以上の割合)	29.2%	減少
国保 HbA1cで高血糖(5.6~6.4%)または糖尿病(6.5%以上)が疑われる者の割合	5.6~6.4%	減少
	6.5%以上	減少
新規人工透析導入患者数	11人	減少
糖尿病性腎症による新規人工透析導入患者数	4人	減少



事業の概要	担当課
基本健康診査・特定健康診査の実施及び受診率向上に向けた取組	健康福祉課
特定保健指導の実施及び実施率向上の取組	健康福祉課
生活習慣病重症化予防事業	健康福祉課
生活習慣病発症予防・重症化予防のための普及啓発	健康福祉課

『健幸づくり計画』の各分野の目標と主な取組

イ がん対策

指 標		基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
がん検診 受診率	胃がん検診	40歳以上	9.3%
		40歳以上 69歳以下	7.1%
	大腸がん検診	40歳以上	16.8%
		40歳以上 69歳以下	11.5%
	肺がん検診	40歳以上	21.0%
		40歳以上 69歳以下	12.0%
	子宮頸がん検診	20歳以上	14.6%
		20歳以上 69歳以下	16.6%
	乳がん検診	40歳以上	20.0%
		40歳以上 69歳以下	24.5%
精密検査の 受診率	胃がん検診		94.1%
	大腸がん検診		86.9%
	肺がん検診		86.2%
	子宮頸がん検診		87.5%
	乳がん検診		91.7%

事業の概要	担当課
がん検診事業（胃・大腸・肺・子宮頸・乳がん）の実施及び受診率向上に向けた取組	健康福祉課
がん検診精密検査受診率向上のための取組	健康福祉課
がん予防のための普及啓発	健康福祉課
がんとの共生のための取組の検討	健康福祉課



(5) 健幸教育・啓発

指 標	基準値 (令和4年度)	目標値 (令和11年度)
健康の推進に関するボランティア数 (保健委員・健康サポートクラブ)	100人	100人
健幸フェスタ来場者数	2,877人	維持又は増加

事業の概要	担当課
健康づくりを担う人材を活用した効果的な情報伝達の推進	健康福祉課
魅力的な体験ブースを検討し、集客力を高めたイベントの開催 (健幸フェスタ)	健康福祉課

